

## 人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略実施計画 （平成 30 年度版）の策定について

### 1 策定の趣旨

- 「滋賀県基本構想」（平成 27 年 3 月策定、計画期間：平成 27 年度～30 年度）に掲げる「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の基本理念のもと、「長期ビジョン編」で描く平成 52 年（2040 年）頃の 5 つの目指す姿の実現に向けて、4 年間で先駆的・重点的に取り組む政策である「重点政策編」の施策を具体化し、着実に推進する。
- 併せて、基本構想推進のためのエンジンとして策定した「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」（平成 27 年 10 月策定、計画期間：平成 27 年度～31 年度）における 19 のプロジェクトを具体化する。
- これらの目的を達成するため、事業内容、事業目標、年次計画等を明らかにした平成 30 年度版「滋賀県基本構想実施計画」および「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略実施計画」を策定する。

### 2 構成

- 基本構想の 7 つの重点政策ごとに、総合戦略の 19 のプロジェクトを位置付け、関連する事業を整理し、平成 27 年度から平成 31 年度まで（プロジェクト外の事業は平成 30 年度まで）の年次計画を示している。

### 3 推進方策

- 基本構想と総合戦略を推進するために、県民の参画や多様な主体との対話・共感・協働の推進、市町との連携の強化、部局間連携により効果的に施策を展開する。
- 基本構想の重点政策における「平成 30 年度（2018 年度）の目標とする指標」や総合戦略のプロジェクトの「重要業績評価指標（KPI）」、実施計画の各事業目標の進捗状況、外部環境の変化等を毎年度把握し、議会や基本構想審議会、人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり推進協議会等に報告する。

#### 4 平成 30 年度版実施計画について

平成 30 年度は、基本構想の計画期間の最終年度であり、総仕上げに向け、これまでの取組を土台として、具体的な成果につなげていく重要な年度となる。

このことから、推進のエンジンである総合戦略を中心に、具体的な成果につながる施策を効果的に進めていくとともに、滋賀の未来創りにも取り組んでいく。

- 総合戦略の平成 28 年度実績では、約 3 分の 2 の K P I で 2 年目の目安となる達成率に達しており、こうしたものは、引き続き年次計画に従い、最終年度（平成 31 年度）の目標の達成に向け、事業を進めていく。
- 一方、19 のプロジェクトのうち、平成 28 年度実績で K P I の達成率が低位となっているものは、取組の見直しや拡充を行うなど、計画期間内の目標達成に向けた底上げを図っていく。

##### **①人口減少を食い止め、人口構造を安定させる**

（新たな取組の例）

- ・「はぐくみ基金造成事業」の実施により、子どもを真ん中においた地域づくりを目指し、子どもの笑顔を育むプロジェクトを公私協働で展開する。（「結婚・出産・子育てするなら滋賀」プロジェクト）
- ・「（仮称）『滋賀 S D G s × イノベーションハブ』推進事業」に取り組み、人口減少や少子高齢化の急速な進行など滋賀の社会的課題を解決し、その解決モデルをビジネス化する。（次世代のための成長産業創出プロジェクト）

（拡充する取組の例）

- ・インターンシップにより若者の県内定着を促進する「産業人材育成・確保のグッドジョブプロジェクト」に継続して取り組むことに加え、「働くなら滋賀！人材育成助成事業」により、中小企業の人材育成・定着の促進に取り組むなど、滋賀の産業を支える人材の育成・確保を推進する。（産業人材育成・確保プロジェクト）

##### **②人口減少の影響を防止・軽減する**

（新たな取組の例）

- ・「『健康しが』コ・クリエーション事業」により、団体や企業など、様々な主体との連携体制を構築し、県民の健康意識の醸成、主体的な健康への取組を推進するほか、「健康寿命延伸プロジェクト」に引き続き取り組むことにより、県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現を目指す。（高齢者の社会参加・健康長寿実現プロジェクト）

（拡充する取組の例）

- ・開催まで 2 年となった東京オリンピック・パラリンピックに向け、「東京オリンピック・パラリンピックスポーツ交流創出事業」による事前合宿等の誘致や受入体

制の検討、来訪者と県民との交流の創出を行うとともに、「東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業」により、多様な主体が集まる会議の開催や文化プログラムの周知等に取り組み、幅広い県民の参画を促進していく。（『東京オリンピック・パラリンピックで滋賀を元気に！』プロジェクト）

### **③自然と人、人と人とのつながり、生活のゆとりを取り戻す**

（拡充する取組の例）

- ・「さまざまな人が支え合うお互い様の地域づくり推進事業」として、地域福祉の実践者の養成講座、地域連携によるモデル事業等を実施し、地域の課題を自ら解決しようとする活動を推進する。（“ひとつながり”の地域づくりプロジェクト）